

港湾における高潮リスク低減方策検討委員会（第4回）議事概要

1. 主な議事

- 事務局より、第3回検討委員会での意見を基に高潮対策の技術的な検討、フェーズ別高潮・暴風対応計画のひな形及びガイドラインの改訂素案について説明した上で、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

（対策の技術的な検討）

- 電気設備の3つの浸水対策について優先順位の有無があれば明確にすべき。

（フェーズ別高潮・暴風対応計画のひな形）

- 防災情報と整合するよう、事後の対応については台風接近時と台風通過後に分けて整理するのが良い。

（ガイドラインの改訂素案）

- 各フェーズを準備・実施、完了、確認とするのであれば、説明の記載内容と整合を図るべき。

- 今回の改訂では、暴風にも焦点を当てているため、第5章高潮対策の検討においても、高潮・暴風対策の検討として、暴風についても注意喚起しておくのが良い。

- 電気設備の浸水による影響として、ガントリークレーンの動作確認といった点検が行えず、復旧に時間がかかった点にも触れるべき。

- 非常用電源の設置に対しても、電気設備と同様に浸水対策を考慮しておく必要がある。

- 改訂の「まえがき」において、台風21号により、特に、長時間の港湾機能の低下といった被害の波及が大きかったことを今回の改訂の動機づけとして記載しておく必要がある。